

広告

Vol.11
ふるさと四季紀行
Shikiki Kikou

桜川市の冬

ノスタルジックな町並みとひな人形の競演



江戸末期から昭和初期の古い建物を彩るひな人形は寒い季節のおもてなし

今年、市内にある国の名勝「櫻川」が指定100周年、国の天然記念物となっている「桜川のサクラ」が指定50周年を迎える桜川市。市の名前にも冠される「桜」の季節を前に華やくのが真壁地区だ。

戦国時代からの城下町・真壁。浅野長政・長重の時代に完成したとされる町割りに、江戸末期から昭和初期の見世蔵、土蔵、門などが残り、約100棟が登録文化財になっている。木綿流通の拠点であり、周辺地域の物産が集散する在郷町として栄えた時代の名残で、平成22年には国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、その価値は改めて見直された。

「真壁のひなまつり」が始まったのは平成15年。「寒い季節、真壁の町並みを見に来てくれる人へのおもてなし」としてスタートした。ひな飾りは古い町並みによく映え、地域は独特な雰囲気醸し出す。20回目を迎える今年、2月4日から3月3日までの日程で開催される。桜川市で古い建物と並んで目に飛び込んでくるのが灯籠などの石製品。真壁石や羽黒石の産地ならではの光景も桜川観光の楽しみだ。



真壁のひなまつり



古い町並みには着物が似合う



桜川市の石材製品

[写真提供：桜川市]

桜川市冬のコース

春の到来を期待させる「真壁のひなまつり」を機に、真壁の古い町並みをじっくり見学したい。豊かな自然も桜川市の魅力。白鳥が訪れる榊ヶ池などは冬季に訪れたい場所だ。



D 雨引観音

安産子育ての霊場として広く知られる関東屈指のお寺。四季折々の花が咲き、敷地内にはクジャやヤギなどがある。



E 椎尾山 薬王院



1200年の歴史を誇る病氣平癒の霊場。県指定文化財天然記念物であるスタジイの巨木群生が見られる。

名産名品

地酒
良質な米と筑波山の清らかな伏流水が豊富な桜川市は、歴史ある酒蔵が製造する地酒が豊富。



A 加波山市場

桜川市の農産物や手作り加工品、工芸品などを販売する産地直売施設。旬のメニューが味わえるKABA CAFEも営業。



B 真壁の町並み

国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された真壁の町並みは、蔵や門などの歴史的建造物が立ち並ぶ。



C 榊ヶ池(ますみがいけ)

白鳥が飛来する場所として知られる榊ヶ池。冬の間は悠々と泳ぐ白鳥に出会えるかも。



桜川市マスコットキャラクター「さくりん」
ヤマザクラの帽子に桜川をイメージした髪、服には筑波山とりんりんロードの自転車が描かれている「桜の里に生まれた妖精」。

桜川市の概要

2005年に岩瀬町、真壁町、大和村が合併して誕生。石材業が盛んな地域で、桜川のサクラ、真壁の町並み、雨引観音など、観光資源に恵まれた地域でもある。

●お問い合わせ／桜川市商工観光課 ☎0296(55)1159 ●企画・制作／読売茨城広告社 ☎029(244)5555

「運ぶ」を支え地域社会を笑顔にする **ISUZU 茨城いすゞ自動車株式会社** 本社／〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(代) <https://www.ibaraki-isuzu.co.jp>



2023年1月28日掲載 読売新聞茨城版【全5段】

広告原稿校了後、「読売新聞広告掲載基準」に基づいた審査がございます。審査結果により原稿内容の修正・変更をお願いする場合がございますので予めご了承ください。

校正日	月	日()	:	校正担当	営業担当	制作担当	株式会社 読売茨城広告社 水戸／TEL.029-244-5555(代) FAX.029-244-5151 mito@yoiko.co.jp つくば／TEL.029-821-6432(代) FAX.029-824-1754 tsukuba@yoiko.co.jp
					赤須	根本	